

安全・安心な歩行空間の確保を目指して 大町町において国道34号の歩道整備が事業化

国道34号は、鳥栖市と長崎市を結ぶ主要な幹線道路であるとともに、大町町においては地域の皆様が生活上欠かすことができない地域に密着した重要な道路です。

大町町大町畑ケ田地区から大町本町地区においては、大町ひじり学園や杵島商業高校、商業施設などが立地し、国道34号が通学路として利用されていますが、一部区間において歩道が整備されておらず、歩行者の安全が確保されていない状況でした。

このたび、安全・安心な歩道空間の確保を目的として、国道34号の大町畑ケ田地区から大町本町地区において歩道整備が国土交通省によって事業化されました。

町の大動脈である国道34号は町民生活に密着した主要な道路であり、歩行者の安全性の確保は最重要課題でありました。今回の国土交通省の事業化決定は、“安全・安心な町づくり”を進めていく上で大変有意義で、町民と共に喜んでいきます。町民の豊かな生活を支える交通環境の向上とともに、地域の発展、地域活力の向上にも大きく寄与するものと期待しています。

引き続き、国土交通省との協力連携を深め、事業の早期完了と、「安全な国道34号」の益々の整備促進に向け尽力していきたくと思っています。

大町町長 水川 一哉

【事業概要】

箇所 佐賀県杵島郡大町町大町畑ケ田～大町本町

延長 0.8 km

【位置図】

